

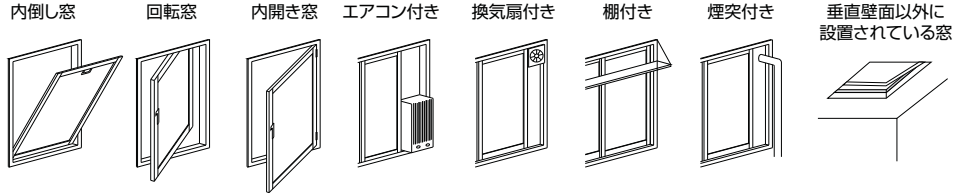
プラマード U

施工上のご注意

内窓のご注文・施工にあたってのご注意

■ 施工する外窓の窓種をご確認ください。下記の窓種は取付けできません。

- 内側に倒れたり、開く形式の窓には取付けできません。
例：内倒し窓・回転窓・内開き窓等。
- 内側に造作を施してある窓には取付けできません。
例：エアコン、換気扇、棚、煙突等。



価格表

オプション

施工上のご注意

技術資料

製作範囲

納まり図

■ 窓台(右頁図1のA部)の寸法をご確認ください。

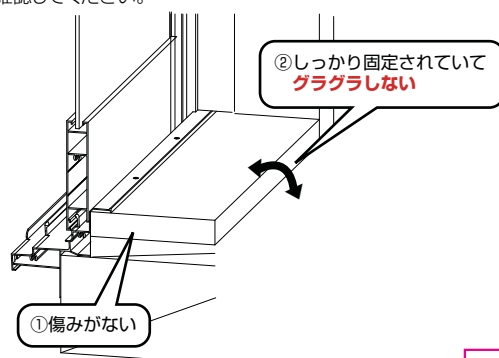
窓種	窓台部必要寸法A(mm)	窓台部必要寸法が不足する場合	その他
引違い窓	73	「ふかし枠」をご使用ください。 ■ふかし枠50を使用する場合 25 ≤ A ≤ 35	<引違い窓> ・外窓のクレセントや、内召合せ框が内窓に当たらないように取付けてください。外窓のクレセントが内窓に当たる場合は、外窓のクレセントをノブの短いものに付け替えてください。(クレセントの回転軌跡や、外窓の内召合せ框の見込み寸法によっては、窓台必要寸法が変わります。)
内開き窓 開き窓テラス	73	■ふかし枠50以外を使用する場合 45 ≤ A < 73 →ふかし枠25を使用 30 ≤ A < 45 →ふかし枠40を使用 A < 30 →ふかし枠70を使用	<内開き窓> ・外窓のハンドルが内窓に当たらないように取付けてください。 <開き窓テラス> ・外窓のハンドルやドアクローザーが内窓に当たらないように取付けてください。
FIX窓	53	「ふかし枠」をご使用ください。 ■ふかし枠50を使用する場合 25 ≤ A ≤ 35 ■ふかし枠50以外を使用する場合 28 ≤ A < 53 →ふかし枠25を使用 13 ≤ A < 28 →ふかし枠40を使用 ※3-	・ふかし枠70は使用できません。
化粧額縁	85	部屋内側に造作材を取付けて下さい。	
直線方立 直線方立+段窓無目	79	「ふかし枠」をご使用ください。 ■ふかし枠50を使用する場合 25 ≤ A ≤ 35 ■ふかし枠50以外を使用する場合 50 ≤ A < 79 →ふかし枠25を使用 35 ≤ A < 50 →ふかし枠40を使用 A < 35 →ふかし枠70を使用	<引違い窓> ・外窓のクレセントや、内召合せ框が内窓に当たらないように取付けてください。外窓のクレセントが内窓に当たる場合は、外窓のクレセントをノブの短いものに付け替えてください。(クレセントの回転軌跡や、外窓の内召合せ框の見込み寸法によっては、窓台必要寸法が変わります。)
段窓無目	77	「ふかし枠」をご使用ください。 ■ふかし枠50を使用する場合 25 ≤ A ≤ 35 ■ふかし枠50以外を使用する場合 48 ≤ A < 77 →ふかし枠25を使用 33 ≤ A < 48 →ふかし枠40を使用 A < 33 →ふかし枠70を使用	<内開き窓> ・外窓のハンドルが内窓に当たらないように取付けてください。 <開き窓テラス> ・外窓のハンドルやドアクローザーが内窓に当たらないように取付けてください。
コーナー方立	85	「ふかし枠」をご使用ください。 ■ふかし枠50は使用できません。 ■ふかし枠50以外を使用する場合 58 ≤ A < 85 →ふかし枠25を使用 45 ≤ A < 85 →ふかし枠40を使用 A < 45 →ふかし枠70を使用	

※マンション用ふかし枠50に関してはP.86をご参照ください。

■ 窓台の強度をご確認ください。

- 本商品の障子最大重量は1枚あたり45kgです。
取付面の木額縁が商品重量を支えられるか、下記の①、②の項目について確認してください。
ひとつでも当てはまらない場合は、障子脱落のおそれがあるため、木額縁を木ねじや造作材などで補強してください。

No.	項目	チェック欄
①	木額縁に傷み(腐朽・割れ)がないこと	
②	木額縁が窓台にしっかり固定されていること	



■ 周辺環境をご確認ください。

- 熱源に近い場所に取付けると変形するおそれがありますので、現場調査時に熱源の位置をご確認ください。
- カーテンレール、カーテンボックスの取付け状況をご確認ください。移設が必要な場合は、下地の有無等をご確認ください。また移設により既存のカーテンの長さの不足・調整が発生する場合がありますのでご注意ください。

■ 内窓取付部の基本寸法W、Hは最低3カ所(図1のW₁~W₃、H₁~H₃)で採寸し、最小値をW、Hとしてください。

- W、Hそれぞれの各採寸値の寸法差が3mm以上の場合は窓台部の修正が必要です。
- 上下左右のたわみが図2に示す範囲内であることをご確認ください。
- 図3の対角が3mm以下であることをご確認ください。
- 取付可能範囲を超える場合は、スペーサーなどを使用して開口部を修正して取付けることができるか確認してください。その場合の採寸箇所は、図4の↔を参考に採寸してください。

- ※ 外窓と「ブラマードU」のクレセント、中棧の位置を合わせたい場合は、右図のB・C寸法を正確に採寸してください。
B : 外窓クレセント位置(窓台上面よりクレセント中心までの寸法)
C : 外窓中棧位置(窓台上面より中棧中心までの寸法)
- ※ クレセント、戸先錠、中棧、引手、ハンドル標準位置、またクレセント、戸先錠、中棧位置のオーダー条件についてはP.100~P.101で参照ください。
- ※ クレセント位置をオーダーする場合、引手の位置も連動します。
- ※ クレセント位置、戸先錠位置をオーダーする場合、基本性能は保証いたしかねますので、あらかじめご了承いただいたうえでの特注仕様となります。
- ※ ふかし枠50と併用する場合はP.57ふかし枠50のみ発注時の注意事項をご確認ください。

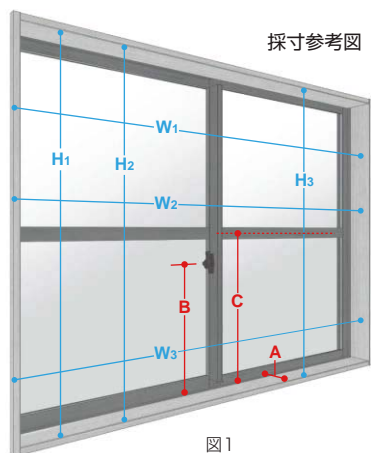


図1

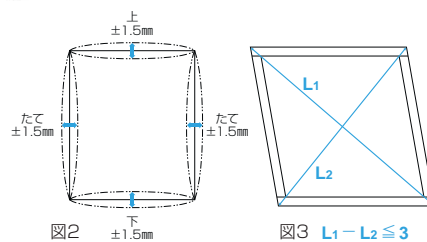


図2

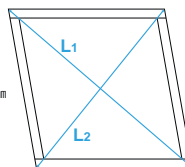
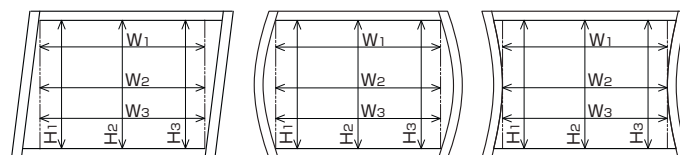
図3 L₁ - L₂ ≤ 3

図4

■ 調整について

- 引違い窓 ● 障子は下部の戸車調整ねじで4mm調整可能です。
- クレセントはねじを緩めると上下に2mmずつ調整可能です。
 - クレセント受はねじを緩めると左右に2mmずつ調整可能です。
 - 戸先錠はねじを緩めると戸先側に2.5mm調整可能です。

■ 施工時のご注意

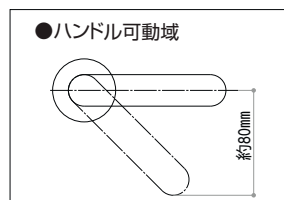
- ※ 寸法差が許容範囲内であっても、開口部の状態によっては、すき間が生じるおそれがあります。その場合は、オプションの調整材、スペーサー等を利用して開口部を修正して施工してください。
- ※ 施工時にすき間がある場合は、シーリング材やメンテチューブ等でふさいでください。

● 和室に取付ける場合

- 和室の鴨居や敷居に取付ける場合、レール溝を現地で埋木したうえで取付けてください。
- 枠取付ねじ位置が埋木部と重なる場合は、オプションの和室用取付ねじ(BS-PUH-34)をご使用ください。

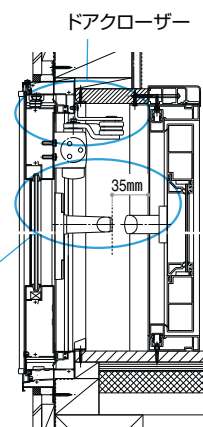
■ 開き窓テラス取付け時のご注意

- 開き窓テラスと既存のドアクローザー、およびハンドルが干渉しないことを確認して発注・施工してください。干渉する場合は図のようにふかし枠をご使用いただくか、**ハンドル可動域を考慮したハンドル位置**の指定をお願いします。



● ハンドル可動域

ハンドル位置



ドアクローザー

プラマード U

施工上のご注意

価格表

オプション

施工上のご注意

技術資料

製作範囲

納まり図

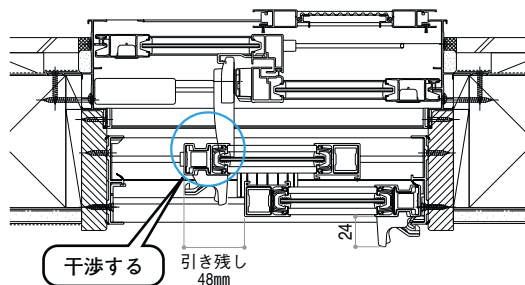
戸先錠仕様採用時のご注意

※クレセント仕様の引き残しについては、P.122・P.123をご参照ください。
※偏芯2枚建の場合の引き残し寸法はP.128・P.129をご参照ください。

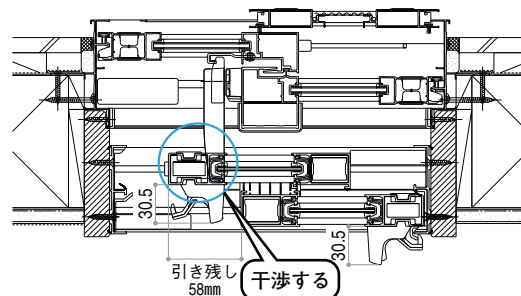
戸先錠仕様は引き残しがあります。内窓の取付け位置により、外窓のクレセントの柄が内窓と干渉し施解錠できない場合があります。以下のA・B・C・D・E寸法を採寸時に確認し、干渉を事前に回避してください。

■戸先錠引き残しによる干渉

●窓タイプ

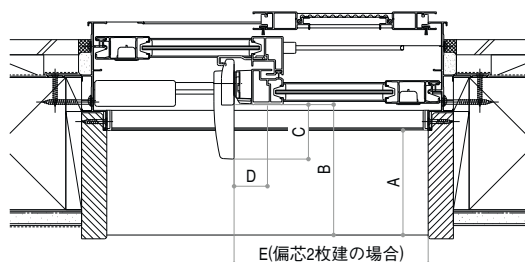


●テラス・ランマ通しタイプ



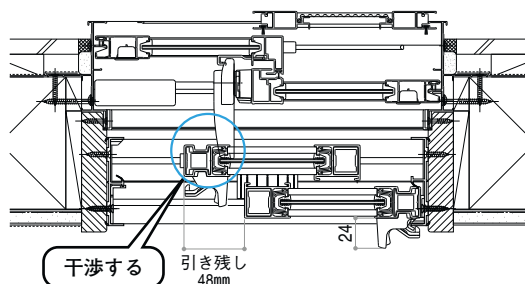
※図はテラスタイプです。ランマ通しタイプの引き残し寸法はテラスタイプと同じです。

■戸先錠仕様 外窓クレセントの干渉回避 採寸のポイント



- A:木額縁の見込寸法
- B:内召せ枠からの木額縁室内面までの距離
- C:クレセント柄の内召せ枠からの出寸法
- D:クレセント柄の側面から内召せ枠中心までの距離
- E:クレセント柄の側面から開口の端までの距離
(偏芯2枚建の場合のみ)

正(左)勝手の場合



A・B・Cを測定し、①②の条件を満たしていれば、クレセント施解錠時に外窓クレセントの柄が内窓にぶつかることはありません。

①A \geq 73

②B-C \geq 73

※①で木額縁の見込が足りず、ふかし枠を使用した場合

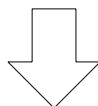
ふかし枠25:(B+25)-C \geq 73

ふかし枠40:(B+40)-C \geq 73

ふかし枠50:(B+52)-C \geq 73

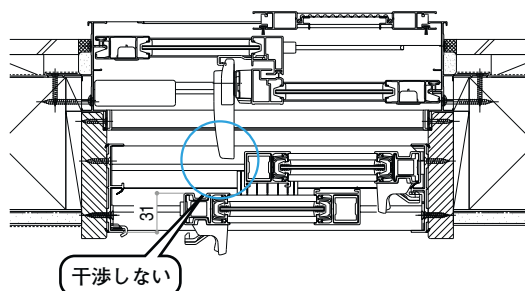
ふかし枠70:(B+70)-C \geq 73

単位:mm



額縁見込寸法が小さく、外窓のクレセントの柄が内窓にぶつかってしまう場合、逆(右)勝手にすると回避可能な場合があります。

逆(右)勝手の場合



A・B・C・Dを測定し、①②③の条件を満たしていれば、クレセント施解錠時に外窓クレセントの柄が内窓にぶつかることはありません。

①A \geq 73

②B-C \geq 35

③窓タイプ:D \geq 25

テラス・ランマ通しタイプ:D \geq 30

※偏芯2枚建て、外窓と内窓の召合せの中心を揃えない場合は、P.126・P.127を参照しクレセントの柄が内窓の外召合せ枠に干渉しないか確認してください。

※①で木額縁の見込が足りず、ふかし枠を使用した場合

ふかし枠25:(B+25)-C \geq 35

ふかし枠40:(B+40)-C \geq 35

ふかし枠50:(B+52)-C \geq 35

ふかし枠70:(B+70)-C \geq 35

単位:mm

E17067001

浴室仕様採用時のご注意

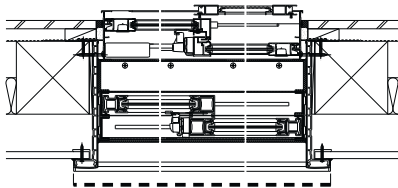
浴室仕様施工にあたって

ユニットバス納まり用

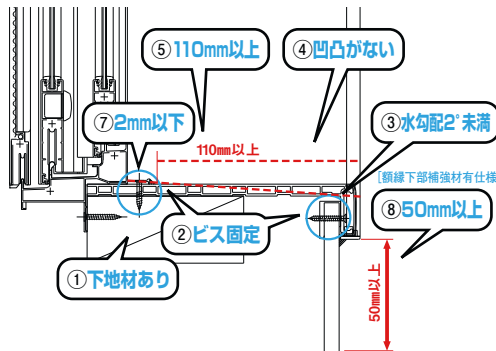
- ① 下図のように、下地材があること（外窓がアングル付枠の場合、下地材がピッチで入っていたり、出入り方向に対して入っていること）
→下地センサーなどを用いて、下地材があることを確認してください
- ② 樹脂額縁が2ヶ所（アングル部、見付け面部）でビス固定されていること
- ③ 下額縁の水勾配は、2°未満であること
→2°以上の場合は、調整材などで下枠が水平になるように取付けてください
- ④ 樹脂額縁に凹凸がないこと
- ⑤ アングルから額縁先端まで110mm以上であること
- ⑥ 開口の狂いが3mm以下であること（図1～3）
- ⑦ 既設アングル立上がり寸法が2mm以下であること（樹脂額縁上面から既設アングル立上がり寸法最高点まで）

額縁下部補強材有仕様

- ②の見付け面部でビス固定されているのが確認できない場合、額縁下部補強材有仕様を使用してください。
- ⑧下樹脂額縁の下部に50mm以上空間があること（浴槽や手すりがないこと）

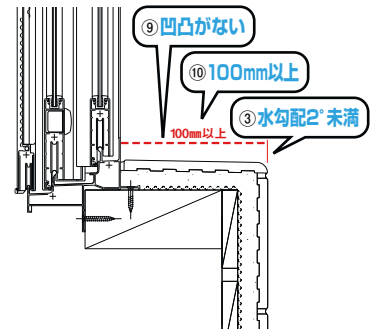


額縁下部補強材L寸法
(既設樹脂額縁外々L寸法)



タイル納まり用

- ③ 下額縁の水勾配は、2°未満であること
→2°以上の場合は、調整材などで下枠が水平になるように取付けてください
- ⑥ 開口の狂いが3mm以下であること（図1～3）
- ⑨ 額縁開口部に凹凸がないこと
- ⑩ 枠の内面から100mm以上あること



- 図1のH₁～H₃およびW₁～W₃の寸法差が3mm以下であることをご確認ください。
 - 上下左右のたわみが図2に示す範囲内であることをご確認ください。
 - 図3の対角差が3mm以下であることをご確認ください。
- ※浴室乾燥機等、浴室内が高温になるときは、障子の開閉を避けてください。
面材の反りにより開閉できないことがあります。

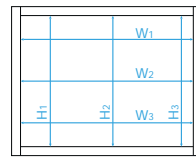


図1

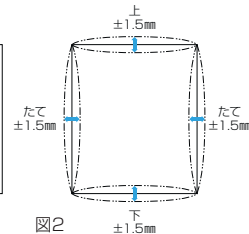


図2

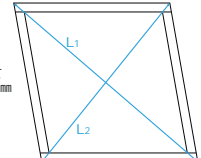
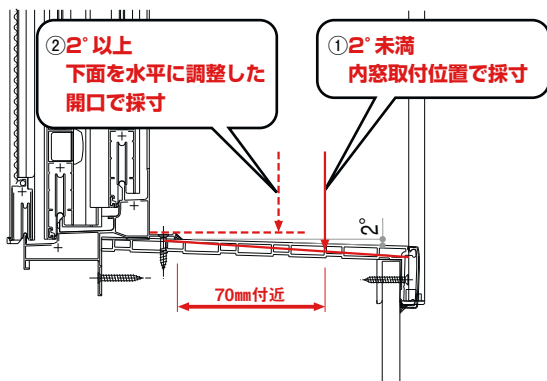


図3 L₁ - L₂ ≤ 3

浴室仕様採寸時の注意点

下図のように、水勾配がある場合

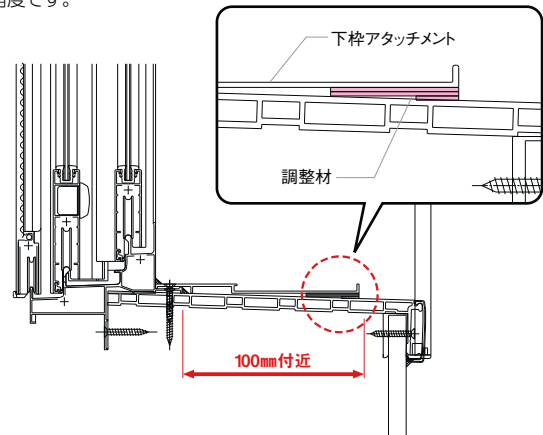
- ① 2°未満→内窓を取付ける位置（70mm付近）で採寸してください。
 - ② 2°以上→下面を水平に調整した開口で採寸してください。
- ※水勾配が2°以上で、下面を調整せずに室内側の開口を採寸した場合、障子が吊り込めない可能性があります。



浴室仕様 下枠調整方法 水勾配2°の目安

水勾配が2°以上の場合は、調整材（オプション）などを用いて、下枠アタッチメントを水平に取付けてください。

※水勾配2°の目安は、外窓アングル部から100mm付近で調整材（オプション）を3枚重ねて（3mm）下枠アタッチメントがほぼ水平になる角度です。



価格表

オプション

施工上のご注意

技術資料

製作範囲

納まり図